イ　教師の学校教育目標に関する意識も十分とはいえず，学年の具体目標となるとさらに理解が不十分である。

ウ　教育目標の具現に向けて，全教育活動の中での取り組みが不十分である。

エ　保護者の学校教育目標についてはほぼ理解されている。

しかし，学級の教育目標，本年度の具体目標となると理解が不十分である。

(2)　教育目標具現化のための方策と実践

①　目指す児童像の具体化

ア　具体化された児童のめあて

あいさつは，人との触れ合い，心の通い，豊かな心（思いやりのある子ども）の基本であると考え＜あいさつのできる子ども＞を全児童のめあてとした。

（学年の具体目標とその到達）

○思いやりのある子	低	○ 友だちにしんせつにし，なかよくする。	
		・人のいやがることはしないで友だちとなかよく遊ぶことができる。 ・人のあやまちをゆるすことができる。 ・観察園の植物をかわいがって世話をすることができる。	・友だちや自分より幼い人に親切にすることができる。 ・自分のあやまちをみとめ，あやまることができる。 ・観察園の植物をかわいがって世話をすることができる。
	中	○ 友だちの気持ちを考えて行動する。	
		・だれにでも，特に弱い人，困っている人に親切にすることができる。 ・他人に迷わくをかけないで生活することができる。 ・観察園の植物をかわいがって世話をすることができる。	・だれにでも，特に弱い人，困っている人を慰め，励ますことができる。 ・相手の立場を理解し，人のあやまちをゆるすことができる。 ・観察園の植物，小鳥，うさぎ，魚をかわいがって世話ができる。
	高	○ 他人の立場を考えて行動し，共に向上する。	
		・他人の立場に立って，だれにでもあたたかく接することができる。 ・自分の行動をふり返り，他人に迷わくをかけないで生活することができる。 ・観察園の植物，小鳥，うさぎ，魚をかわいがって世話ができる。	・級友を互いに認め合い，励まし合って共に向上することができる。 ・自分と異なる意見や立場を理解し，それを大切にした生活ができる。 ・観察園の植物，小鳥，うさぎ，魚をかわいがって世話ができる。

⇒

全児童の目当て
あかるく　元気に あいさつができる子ども

イ　焦点化，具体化され実施にいたるまで

生徒指導部 ⟶ 職員会 ⟶ 学年・学級

※　教頭の援助・指導

・具体案（全児童のめあて）を生徒指導部に提案，検討し，職員会で再検討する。
・学年の具体目標を焦点化，具体化して意図的，計画的に指導することの重要性（９月の職員会）を話す。

②　具体的指導の場，方向への援助指導

※　教師の援助・指導

ア　教師の基本的な指導姿勢
・学年，学級の児童の実態を的確にとらえ，指導の具体策を講じる。
・学校全体のものとして，同一歩調で指導に当たる。
・評価は，児童一人ひとりを伸ばすためのものであり，実践過程において賞賛と励ましを繰り返し行う。

イ　評価の方法（生徒指導部へ提案，検討後生徒指導協議会へ提案）
・個別カードを利用し，反省を記録させ自己反省をさせる。
・個別カードをもとに，一定期間ごとに集計を行い，児童の変容をとらえる。
・学級の話し合いにより，一人ひとりの実践が，学年学校全体の向上につながることを知り，実践意欲を高める。

ウ　評価の実際
・いつ，どこで，だれに「あいさつ」ができたか毎月，ある期間自己評価させる。

あいさつカード

年　組　氏名

いつ	
どこで	
だれに	

日	曜	まえよりもよくできた。	まえとおなじくらいできた	まえよりもできない
	日			
	月			
	火			
	水			
	木			
	金			
	土			
計				

ア　自己評価カードできたことを認め，励ます指導ができるよう配慮した。

イ　児童の変容

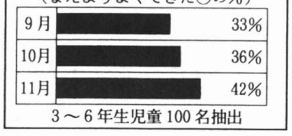
◇登校時のあいさつの状況◇

月	日	曜	廊下 あいさつ有	廊下 あいさつ無	校門 あいさつ有	校門 あいさつ無
6	12	水	50	35		
	13	木			167	158
	14	金	69	55		
	17	月	58	29		
	19	水			166	158
	20	木	63	39		
人数　計			240	158	333	316
あいさつした割合			60.3 %		51.3%	
あいさつをした全体の割合					54.7%	

月	日	曜	廊下 あいさつ有	廊下 あいさつ無	校門 あいさつ有	校門 あいさつ無
10	21	月			176	123
	28	月	73	22		
	30	水			156	115
11	1	金	86	19		
	2	土			182	117
	7	水	93	25		
人数　計			252	66	514	355
あいさつした割合			79.2%		59.1%	
あいさつをした全体の割合					64.5%	

少しずつではあるが，児童のあいさつに対する意識の高まり

各月一週間の自己評価による達成状況
（まえよりよくできた○の%）



3～6年生児童100名抽出